

組み合わせ変革

意思決定の精度を高める。

タイムリーに判断できる。

可視化し未来を予測できる。

現場に意思決定の権限を委譲する。

AI 武装した人財

教育ツール提供

世代、役職、組織を超えて繋がる。

意思決定を加速させるデータ活用

世界標準で貢献

ICT には、管理職はメンバーのフレキシブルな活動を阻害しないという暗黙のルールが存在する。

管理職は、メンバーの活動の障害を取り除く役割

役割が違うだけで、対等な立場、上下関係ではない。

指示命令でなく、依頼

決定権はメンバーにある。

RPA を活用し、ビジネスを分解するアプローチ

1. 組み合わせ変革

RPA (Robotic Process Automation) を活用することで、ビジネスプロセスを分解し、効率化と精度向上を図ることができます。

意思決定の精度を高める

データ活用: RPA を通じて収集されたデータを分析し、意思決定の精度を高めます。これにより、タイムリーな判断が可能となります。

可視化と予測: データの可視化ツールを使用して、現状を把握し、未来のトレンドを予測することができます。

現場に意思決定の権限を委譲する

権限委譲: 現場の従業員に意思決定の権限を委譲することで、迅速な対応が可能となり、組織全体の柔軟性が向上します。

AI 武装した人財: AI と RPA を活用できるスキルを持つ人材を育成し、現場での意思決定をサポートします。

2. 教育とツール提供

教育ツールの提供: RPA や AI の活用方法を学ぶための教育ツールを提供し、全社員のスキルアップを図ります。

世代、役職、組織を超えて繋がる: 世代や役職、組織の壁を越えて、知識と経験を共有する文化を醸成します。

3. データ活用による意思決定の加速

データドリブンな意思決定: データを基にした意思決定プロセスを確立し、迅速かつ正確な判断を可能にします。

世界標準で貢献: グローバルな視点でデータを活用し、世界標準に基づいた意思決定を行います。

4. 管理職の役割とフレキシブルな活動

管理職の役割: 管理職はメンバーの活動を阻害しないようにし、障害を取り除く役割を担います。

対等な立場: 管理職とメンバーは対等な立場であり、指示命令ではなく依頼を通じてコミュニケーションを図ります。

決定権はメンバーに: 最終的な決定権はメンバーに委ねられ、彼らが主体的に行動できる環境を整えます。

5. フレキシブルな活動の支援

ICT の活用: ICT を活用して、メンバーのフレキシブルな活動を支援し、効率的な業務運営を実現します。

共創型チーム: 複数の共創型の小規模チームに所属し、信頼関係を構築しながらプロジェクトを進めます。

これらのアプローチを組み合わせることで、RPA を活用したビジネスプロセスの分解と効率化を実現し、組織全体のパフォーマンスを向上させることができます。